

三人(男各一人)

第1-33回 毎年6月3日 船橋 海老川親水造形祭りで無料色彩心理鑑定家、開催NPO法人海老川の川を美しく環境市民の会で心の悩みイジメ自殺撲滅家として活躍中

私は、大綱で「あすなろ絵画工作教室」を主宰している絵画家です。児童の個々のイメージや想像力を大切にすることをモットーとして、もう、四十年以上。児童と、いつも真剣に、そして暖かく相対してきたつもりです。

また、独学で、絵画による児童心理の分析・診断にも長年取り組んでおります。

さて、言うまでもなく、「子どもは社会の宝」であり、明日の日本の希望です。

ところが、ご案内のように、今日、イジメ問題が大きな社会問題となり、毎年多くの児童が悩み、絶望し、命を落としています。

イジメ問題の解決は、緊急の課題であり、関係者が総出で知恵を出し合い、解決していかなくはなりません。

千葉県におかれましても、平成26年2月、県会議員の発議により、千葉県いじめ防止対策推進条例を制定し、県民一体となってイジメの根絶を目指されていることに敬意を払うものであります。

こうした取り組みが、より一層有効に推進されるよう、「イジメ問題に関する千葉県の対策について、四つの提案をいたしたく、本陳情書を提出いたします。

1 陳情の内容

第一 イジメ自殺者の現状について調査し、公表してください。

第二 絵画によるイジメ分析の専門家の意見を反映する場を、設けてください。

第三 学校の美術の時間を、子どもの情操教育の時間として、一層充実させてください。

第四 イジメ自殺者の家族を含めた関係者討論会を開いてください。

第五 文部科学省に対して、全国からイジメ自殺撲滅に策を持つ人を集めるよう、要望してください。

2 陳情に至った趣旨説明

(1) 「陳情第一」イジメ自殺者の現状の調査・公開について

ここ千葉県では、私の調査では、^{2010年より21%に上昇}2018年に、19名のイジメによる自殺者が出ています。しかしながら、千葉県として、その実態の公表はされていないようです。事態の重大性に鑑み、ぜひ綿密な調査を行い、その結果を公表されることを望みます。

・船橋駅 4人 飛び込み・南房総市 3人・松戸市 1人・茂原本納駅 3人・鶴山 1人、袖ヶ浦市 2人。八千代市 1人・山武市未遂・市川大野駅 1人

文部科学省が平成30年10月に発表公表しましたその結果、イジメ認知件数が、昨年より50人増加しています。

千葉県 2017年イジメ自殺者 9人 →

日本一 千葉県イジメ自殺者 19人このままで、いいんですか。

私の調査の結果、イジメ自殺者 過去最大 千葉県2008年-2018年 19
2017年 9人、2018年 13人(小学生1人 中学生6人 高校生6人)
公開せず秘密です。

・南房総市 3人
・松戸市 1人
・船橋駅 飛び込み 3人

2019
谷津 1
2018
東中川 1

千葉県におかれましては、現在、千葉県いじめ問題対策連絡協議会を設置し、関係機関及び関係団体と連携しいじめの防止対策を協議されていることは、承知しております。

しかしながら、ホームページで協議会(概要)、協議会資料などを拝見する限り、絵画によるイジメ分析の専門家の意見が反映されていることはないようです。

冒頭、申し上げましたように、私は、色彩による児童心理の分析にも長年取り組んでおります。絵画に、描いた子の心理が反映し、そこから、冒頭、申し上げましたように、私は、色彩による児童心理の分析にも長年取り組んでおります。

こうした研究は、以前から少数の絵画診断の専門家により、なされてきました。

「子供にとって絵とは、それが心の表現です。形や色、強い線や弱い線などで自分の心の傷を見事に絵の中に表現して見せるのです。一枚の絵、それは子供の心のすべてです。」岡田徹氏等著『子供たちからの赤信号』から引用)

『子供たちからの赤信号』は、幼稚園児を対象とした書ですが、私は、私が開催している絵画教室の小中学生を対象として、イジメの萌芽が見える場面に何度も遭遇し、必要に応じて、親御さんに助言をしたり、ご相談にのってきました。

そうした、子どもたちの心のSOSを発見し、父兄への協力を行ってきた経験や、実績は、今後のイジメ対策に対して大きな貢献をなしえるのではないかと自負しております。

日本初 イジメからのSOSを発見 多数のイジメ、心理学拝読した感想ではアメリカ、日本の心理学間違っていることに気が付きました
トップの心理学者が間違っているため解決できません。私は、描く落書の絵で色彩学で病気、心の悩みイジメ自殺者を発見する事が出来ます。ので宜しく申し上げます。子どもが描いた絵は“心の言葉”

インターネット

あすなろ絵画工作教室

検索

日本初、絵を描くことで原因発見

2016年5月 心の言葉

不登校 学校へいきたくないとの事
絵画色彩心理学研究記録で解決

2016年5月 不登校 学校へ行きたくない
いきたくないとの事 自由画 落書きの絵のなかで、sosを発見 子供のえは生きてい
る。絵は心の言葉です。小3年男子が絵のなかで、変な形のsosを発見 母親に相談すると突然学校に行きたくないとの事、友達から嫌がらせされたりイジメにあって大変困っているとの事、児童心理学の解決策を母親にお話して 実行してもらおうと2週間で、即、解決し学校に行くことになりご父兄母親から大変喜ばれています。

(3) 「陳情第三」美術の時間の充実について

イジメ問題は、イジメられる子の救済だけではなく、根本的には、イジメる子の撲滅対策が含まれている必要があると思います。

イジメる子が出てくる一因には、情操教育の不十分さがあるのではないのでしょうか。

絵画は、言うまでもなく最も大切な情操教育の一つであり、子どもたちに絵を描かせたり、粘土、タンホール工作などを通して、造成する感動、喜びを味あわせることができます。

子どもたちは、情操を育み、ストレスの解消にも役立ち、褒められることでさらに伸びます。(蛇足ですが、現代の子どもたちに足りないのは「自信」。絵は勉強と違ってほめるところが多いのです)。

写生会など、美しい自然にふれあい、やさしい心を育てることもできて、良いのではないのでしょうか。

一方、イジメられる子についても、美術の時間をとおして、担当教師は、心のSOSの発見に努めるべきであることは、言うまでもありません。

(4) 「陳情第四」イジメ自殺者の家族を含めた関係者討論会について

イジメ0撲滅として運動してて多数の自殺をだしたばあいでも解散しないのですか

茨城 青森 イジメにあった 父親いはく命の大切が伝わってこないとの事解散を

NHK イジメ ノックアウト といって、イジメ自殺者が多くなった時は どうどうするのでしょうか、意味がないので即、解散してやり直すべきだとの事。

ある大臣いわくやっている政策が間違っているので、早く取り止めるべきだとの事

ある交通安全の警察いわく、交通事故、事故死、スピード違反無くなるとの事

イジメ自殺撲滅の政策では、NPO千葉 東京、児童心理学者が毎日イジメ無くそう と学校での講演会を1年間200以上講演とか、その対策地区でイジメ自殺者起きたら

どうするのでしょうか・? PTA 教育委員会 警察 先生方 心理学者

アンケートでイジメ調査とか、気が弱くて、恐くて書かない子もいます。

2017年1月10日 松戸市中1女13才は、イジメアンケートを書かず発見出来ず

イジメ自殺飛び降りする。松戸イジメ撲滅 講演参加 民進党小西洋之氏

アンケートに書かず松戸委員会もイジメ自殺 発見出来ず成果なしでいみなしだった。

成果 結果が0に出来なければ、解散すべきだとイジメにあった父親が全員激怒。

イジメ自殺しているのに イジメ第3調査委員会の大学心理学者がイジメなしとか

青少年の命の大切が伝わってきません 本当に大学児童心理学者といえるのでしょうか

(5) 「陳情第五」文部省への要望について

イジメ問題は、全国各地で発生している問題であり、国の責任は重大です。

文部科学省に対して、全国からイジメ自殺撲滅に策を持つ人を集めるよう、要望してください

トップの 専門 教育関係者、アメリカ、日本大学心理学者 間違っているためです。
イジメ自殺がなぜ解決できない原因は何か

- 1、アメリカと日本のイジメ色彩心理学が間違っているため解決出来ないと思います。
- 2、イジメにあった子が、なぜ転校しなくてはいけないのか、考え方間違っている事
- 3、学校は悪い事、殴り、蹴ったり、イジメたり暴力生徒が勉強しては、ダメな事
- 4、勉強したい良い子、学校で勉強すべき事だと思ふ、悪い子は、転校すべき事
- 5、2018年八王子駅学校 指示により10月転校してから、イジメ自殺者
- 6、2017年 松戸中1、13才イジメ自殺2016年青森アンケートする
- 7、自殺者3人 気が弱く、アンケート書かずにイジメ自殺
- 8、全国イジメ自殺相談委員方の名 前はなく、全国命の相談委員である事
- 9、イジメ自殺者 名前、学年、学校、校長名、イジメ子公表すべき事
交通事故 スキー事故 死亡事故では顔入り公表していますが、
なぜイジメはダメなのか、皆で考えてほしい。両親が怒りの後、名前で公表
交通事故 スキー事故 死亡事故では顔入り公表しています。

なぜイジメはダメなのか、皆で考えてほしい。怒り後から両親が名前公表

一般人学歴関係なくイジメ自殺撲滅出来る
人を集める事だと思ひます。私はプロの心理鑑定士です

提案として、文部省が各県の廃に小、中、高校生毎年イジメ自殺者300人のイジメ自殺撲滅色彩美術学校を創設をお願い申し上げます。空き家 廃校に

私は、日本初、色彩心理学で自殺撲滅家、イジメ対策として活動しています。多数のイジメ、心理学拝読した感想ではアメリカ、日本の心理学間違っていることに気が付きました

トップの心理学者が間違っているため解決できません。私は、描く落書の絵で色彩学で病気、心の悩みイジメ自殺者を発見する事が出来ます。ので宜しく申し上げます。

—イジメ対策の提言—
原因発見！「イジメ」は、絵を描くことでなくせます

あすなろ絵画工作教室主宰 清水 敬由

1 すぐにキレル最近の子ども

最近、横浜での生き地獄事件、マットレス事件、大津事件など、イジメによる悲惨な事件が絶えません。

そうした事件を考える際、子どもたちの、次のような変化を考える必要があります。

- 年上、先生、親をバカにする
- 授業中、落ち着きがなく、暴れたり、先生の言うことを無視する
- 最後まで、絵を仕上げられない
- 電車の中や、駅のホームで座り込む

また、子どもたちの気持ちは、ゲーム感覚でかなり変化してきています。

イジメに関して、各界の専門家がいろいろな意見を出していますが、子どもたちの現場を見ていない、机上の論議も多いようで、有効な解決策を見出せていません。

私は、イジメ問題の解決のためには、まず、子どもたちの目線に立ち、子どもたちの現状、実態を把握して、子どもたちが発している、「心のSOS」に気づくことが、第一であると思います。

2 子どもの絵は、訴えている

では、「心のSOS」は、どうすればキャッチできるのでしょうか。

それには、まず、子どもたちの描いた絵を見ることです。

絵には、描いた人の心の悩みなどが表現されています。

例えば、二十年前、イジメにより自殺した小学生の絵が、画面一杯に、有名なピカソの涙女にも似た顔面に口が曲がっていたり、傷がいっぱい描かれていたことを、思い出します。

絵の色彩や形を見ることによって、子どもたちの心の中を見ることが出来、問題解決の糸口がつかめるのです。

3 絵画は、最良の治療手段

もちろん、絵は、子どもたちの訴えの分析の手法にとどまるものではありません。

人は、花火の美しさ感動します。瞬間の美しさで、その瞬間は、嫌なことを忘れることが出来ます。

美しいものを見ることにより、感動する心に出会い、癒されます。

4 ほめることで自信を

絵は、誰でも描けます。

近年、外壁、シャッターへの落書きが増えていると聞きます。

そうしたグループに意見を聞くと、十八歳になって突然描きたくなつた、ということです。

これは、子どものころに親に褒められたことが心に焼き付き、その子にとって、永久の宝物になっているからではないでしょうか。

現代の子どもたちに足りないのは自信です。

絵を描かせ、ほめることで自信を持たせることが重要です。

5 教育、児童心理、一般の大人が連携した取り組みを

以前、NHKの番組で、教育心理学や専門学の先生方が、イジメについて語る番組がありました。

その場では、難しい問題だ、ということで論議が終わりましたが、ただ一人、教育関係者の方が絵を描けば治る、とおっしゃっていました。

私が、四十年間、児童心理学で感じ、学び得たことと一致し、大変うれしく思いました。

教育、児童心理の専門家と一般の方が連携して、大人ぐるみでの対応が必要です。

- 教育現場から、本音で生の声を伝えられる先生、生徒から叩かれたり蹴られたりした先生
- 心理学者
- 心理研究、幼児研究、色彩心理研究等に精通した一般の方

とりわけ、絵の専門家の参加は重要だと思います。

5 「あすなろ絵画工作教室」

私は、子どもの絵画指導に約四十年の経験を積み、児童心理学、統計学を独学で学び、研究してきました。

今も、いろいろな工夫を凝らして、千葉県大網白里市で、「あすなろ絵画工作教室」を主宰しております(次ページをご覧ください)。

新聞で、「清水さんと子どもたちが取っ組み合いをするような自由な雰囲気」と、紹介されたこともあります(読売新聞1994・8.6「指導者No.1」)。

「幼児期での個々のイメージや想像力を大切にすること」をモットーに、絵画コンクールでも多くの受賞者を出しています。

一度、授業風景をご覧いただき、ご意見を頂けたら、この上ない幸いです。